

公益社団法人日本連珠社 平成26年度事業計画 (各委員会)

平成26年度から法人資格は【公益社団法人】です。日本連珠社理事長以下全理事・監事、事業推進補助役(参与・相談役)、全会員が公益事業促進への責任と自覚をもって取り組むべき姿勢には変更が無いことは当然のことです。連珠の普及・発展及び日本連珠社会員数増加施策に協力体制をとり、各委員会も委員長の職責においてさらに連携を密にするとともに、事務局の有効活用によりさらなる活性化を図りたい。

公益社団法人としての初年度でもありますので、連珠の普及・発展を図る実務面では、新しいことに取り組んでいくことよりも従来と同じ事業展開を地道に実施して、公益社団法人として相応しい法人を目指したい。

一方私たちには不慣れな事務・会計面では、ご承知の通り、既に公益社団法人事務等支援を外部専門業者に委託しています。外部専門業者のアドバイスに沿って、日本連珠社が目指す【連珠の普及・発展】に邁進していきたいと考えます。

平成26年度に開催が予定されている海外棋戦は、①第10回連珠チーム世界選手権戦(於：台湾・台北市、平成26年4月末～5月初開催予定)と②連珠世界ユース選手権戦(於：エストニア・タリン市、平成26年8月開催予定)となっている。前回優勝したチーム戦へは2チームの出場権があるので、①に積極的に代表選手と役員など選手団を派遣して、限られた原資・助力ではあるが、有効に活かし、連珠の国際普及と国際親善に役立てたい。

国内においては、平成23年3月の東日本大震災及び東京電力福島原発事故の影響が多方面に亘りまだまだ色濃く残っているが、「東北選手権戦」の復活開催などで南東北地域の連珠普及活動もようやく漸進しはじめている。日本連珠社会員が先頭に立って南東北地方の連珠活動を支援して、一日も早い本格的な復興を願うばかりである。

こうした状況下で、ホームページやプレスリリースの情報更新も行なわれ、会員の【公益】を自覚した普及活動や各地域連珠会への【公益】に対する意識づけをさらに盛んにしていきたい。連珠公認指導員や各支局・支部は有望新人の発掘を継続して心がけ、更に正会員・準会員(購読権者)増に努め、夫々の隣接地域の連珠の普及・発展に寄与する努力を惜しまないよう地道な活動を行ないたい。同時に日本連珠社が【公益目的事業】を積極的に推進している裏付けとして、老人施設、障害者や児童対象の普及活動報告を機関誌『連珠世界』へ投稿していただきたい。

平成26年度も引き続き、連珠普及活動を支局・支部と友好関係にある《地域に密着した連珠会》に《連珠普及業務の委託》を実施し、より公益事業目的活動を推進したい。

RIF連珠開局規定は【珠型交替五珠2題打ち…略称：2題打ち】に加え、平成24年9月1日まで試験的に、【珠型五珠題数提示選択打ち…略称：題数打ち】・【四珠交替打ち】・【五珠交替打ち】の3ルールが追加された後、開局ルールが不明瞭な【均衡打ち=坂田ルール】も追加認定されたことはご周知の通りですが、ルール提唱国(者)は未だに「ルールブック」も整備作成する気配もなく、不毛で非建設的な異論を提唱することに終始しており、ルールの一本化は進展する可能性が見えない現状に陥っています。現在日本連珠社の方針は、【①試験期間の延長、②開局規定提案条件の規定化】であり、平成26年5月に連珠チーム世界選手権戦期間中に開催予定のRIF会議で公式に強く提案訴求したいところです。3年前から国際委員会からRIFへ英訳「ルールブック」をRIFホームページへ掲載することを要望しているところですが、未だに掲載されておらず、再度強い働きかけをしたい。

具体的な事業計画は次の通り。▲印やアンダーラインの項はとくにご精読ください。

(1) 第52期名人戦 … 1,000千円

△名人位決定戦挑戦手合い5番勝負 … 250千円

原則として平成26年10月～12月にかけての5日実施する。

とくに10月の第1局・第2局は日程・場所(東京都内予定)を決めて機関誌等で後日公示する。

決定戦に相応しい会場など確保のため、対局予定日を5月中に決定したい。

△同 名人位挑戦者決定リーグ(略称：A級リーグ)戦 … 650千円

平成26年9月13日(土)～15日(月・祝日)、於：静岡県浜松市中区ホテル米久

◎第52期A級リーグ代表選手対局料(選手負担金額) … 12,000円/1人とする。

▲同 一次、二次予選 … 1.5万円、予選会場費・運営諸費用→支局・支部が費用負担、または本部が支給
名人戦運営委員長が文書で委嘱任命した各地運営責任者に【会場確保と運営実務】を委ねる。

A級出場者の決定を7月中とする。

公益社団法人日本連珠社
(平成26年度事業計画)

- (2) 機関誌『連珠世界』の定期発行 … 2,900千円(郵送費・荷造包装費・表紙制作費等含む)
△毎月1日の定期発行を守り、年12回発行する。
△普及目的のために、寄稿された入門講座などを掲載する。
▲一般読者が【公益活動】と認識しやすい記事(児童対象・老人会での活動報告や政府公告)を掲載する。
△時機に応じた適切な情報を適宜、提供するように努める。
△発行費予算が逼迫しているため、機関誌ページ数目標を毎号46ページ平均とする。
△昨年度に引き続き、【指定寄付：機関誌発行支援】を募り、機関誌の安定発行に資する。
- (3) 本部と各支局・支部活動の継続 … 本部主催棋戦150千円、委託費180千円
▲従来の支局・支部主催棋戦 ⇒ 誰でも参加できる公益事業であるため、地域に密着した連珠会と【所定の覚え書】等を交わして【連珠普及業務の委託】を相互協力して推進する。
▲各支部は地域の連珠会等との連携を密にして、各棋戦・例会・初心者講座などを通して、連珠の普及・発展とともに日本連珠社組織の拡大に努める。*主な棋戦は次の通り。
主な棋戦とは、優勝者などに昇入段権が付与される日本連珠社が認定した棋戦・大会であり、【昇入段規定】に掲載されている棋戦のこと。**基本的には結果を理事メールにて速やかに報告することが求められる。**
▲「第10期全日本連珠選手権戦=愛称-珠王戦：第14回連珠世界選手権戦代表選考国内予選」、「中段戦」、「全国通信戦大会」、以上本部主催棋戦
「名人戦支局・支部予選」、「青森県名人戦」、「青森県選手権戦」、「東北選手権戦」、「関東連珠帝王戦」、「関東選手権戦」、「三上杯」、「彗星決定戦」、「新鋭トーナメント戦」、「あすなろ杯争奪戦」、「東海選手権戦」、「青雲戦」、「双竜戦」、「関西選手権戦」、「クラス別京都大会」、「登龍門戦」、「中国四国大会(仮称)…予選」、「中四国新人王戦」、「九州連珠選手権大会」、「九州新人王戦」、「九州アマ王座戦」、「九州支局内支部例会」、**以上支局・支部と地域連珠会併催棋戦**
▲平成26年3月末を以って、富山県支部は解散しました。支部が復活するまで公式棋戦(北陸地区連珠選手権戦)は無くなりました。【昇入段規定】中の《富山県支部昇入段基準》を廃止とせず、支部が復活するまで、保留します。
- (4) 各地区の連珠会と会員などへの支援強化 … 本部から普及資料等配布50千円(郵送料含む)
支局・支部主催棋戦 ⇒ **地域連珠会が費用負担**
△本会会員のリーダーや連珠公認指導員の下に、各地区で連珠会が組織され、競技会・例会や各種の指導が行なわれている。これらを支援するため、きめ細やかな施策を取り入れながら組織の活性化を図り普及促進につなげていきたい。
▲支援する主な各地の連珠会は次の通り。(ホームページ全国連珠会案内などより抜粋) _____印 ⇒委託先
「青森県支部連珠会」、「南東北支部仙台教室」、「**福島連珠会**」、「東京連珠会」、「城西連珠会」、「磯部連珠教室」、「東京都区児童館連珠教室」、「浜松連珠会」、「**東海連珠会**」、「近江八幡連珠会」、「**関西連珠会**」、「京都連珠会」、「阪神連珠会」、「門真連珠会」、「**広島連珠会**」、「**九州連珠会**」、「福岡連珠会」、「佐賀連珠会」、「葉隠連珠会」、「**熊本連珠会**」
※上記以外にも、公益に資する継続した普及活動をしている方からの支援要請に対応します。
- (5) 積極的な国際交流 … 300千円
△本年度も、【国際交流援助募金】を募り前述の第10回連珠チーム世界選手権戦へ積極的に選手団を派遣する。日本代表チーム(エントリー費全額)と代表選手へは正会員を対象として補助金を給付する。
※補助金を受ける権利は、正会員(特別会員・家族正会員を含む)であることを条件とする。
※日本代表チームのチーム戦参加費は、日本連珠社本部が一括負担する。(2チーム分、5万円予定)
※補助金額は、2万円/1人、総額25万円程度とする。出場辞退者が出た場合には、国際委員会の定めに沿って順次繰り下げて補助金権利を付与する。
※いずれの補助金額も情勢変更による変更は理事長に一任する。
- (6) ホームページの充実 … 50千円(一部HP管理費)
△「ホームページ」の内容についてはメディア委員会の管理の下充実度は高くなっている。公益社団法人への移行認定された日本連珠社にとっては、所轄官庁内閣府総務省他各省庁の法人情報開示指導、公益法人改革法及び政府のIT政策によって不可欠になっていることもあり、従来同様積極的に取り組む。
- (7) 新聞、図書、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネットなどによる普及活動
… 30千円+支局・支部経費
△広報委員会が中心となり、これらの機関に対して積極的に老人施設や児童館などでの公益事業活動のアピールを続けるとともに、継続したプレスリリース情報を提供する。

公益社団法人日本連珠社
(平成26年度事業計画)

△特に公益事業活動、名人位決定戦、A級リーグ戦、国際戦情報は、積極的に情報を提供する。

▲連珠技ではない『日本連珠社のPR紙』を、将来の国際戦の国内開催も視野に入れて、企業や公共団体に具体的な支援を訴求していきたい。公益社団法人としての作成見直しは予算の管理上次年度以降とする。

(8) 全国通信戦などの開催 … 10千円

△諸事情で実戦機会に恵まれない連珠愛好者のため、年2回の通信戦を継続して開催する。

△ネット連珠は既存の各サイトで対局が可能であり、個人情報把握が困難なネット利用者の個人情報管理が現時点では困難であるため、当分は開発を見合わせる。

(9) 詰連珠による昇入段制度の継続 … 20千円

△諸事情で実戦機会に恵まれない連珠愛好者のため、「詰連珠新題」、「天狗道場」、「特別昇入段テスト」などを機関誌で継続出題する。

△詰連珠出題や解答者の表彰も公益事業目的にかなっているため、(8) 全国通信戦の活性化も視野に入れながら、詰連珠通信戦委員会活動を推進していく。

(10) 参考書・ルールブックなどの発行 … 20千円

△平成21年度全会員に配布された『新ルールブック』を、非会員の希望者には公益事業の一環として無料(郵送料実費)で提供することを継続する。

△連珠の普及発展には参考書などの発行は欠かせないので、予算的に可能な範囲で積極的に取り組みたい。

著作権問題に留意しながら、過去出版の連珠図書の『別刷り』を発行したい。

△日本連珠サービス発行の『はじめての連珠④』や『詰連珠100連発』も初心者普及に適しているため、本部経費で購入頒布したい。また各地区の連珠会で購入し活用するよう働きかける。

(11) 臨機応変な施策の推進 … 100千円

△急激な時代の変化に対応するため、当初の計画にとらわれない弾力的な運営を心がけ、解決すべき案件などを着実に一つ一つ実行する。指定寄附による女流棋戦の継続などを実施する。

※【女流棋士育成基金…コード02014】の残高は、平成26年2月現在で約9万円。

(12) 高齢者社会への積極的な対応 … **地域連珠会が費用負担**

△高齢者社会に対応し、重要な公益事業推進の一環として、老人クラブ等に積極的に働きかけ、社会のニーズに応えていく。

(13) 会員増員計画推進運動の継続

△IT環境が整うにつれ非会員でも簡単に棋譜や定石が入手できるようになったことで、非会員のままで推移する珠友が激増している。「ファーストステップ③連珠」の発注は年間10件程度であり会員になる人は殆どいない状況である。連珠仲間で非会員の方に公益事業目的を説明し、積極的に会員(正会員または準会員)になるよう勧奨していく必要がある。

▲各地の連珠会参加者増が会員増に直結する傾向はある。会員でネット連珠に参加可能な人は、懇意な対局相手に各地の連珠会を紹介して参加を勧めるなどの全国展開を図って欲しい。とくに連珠会場の部屋の扉の前に工夫した勧誘問題やチラシなどを掲示することは効果的なので、実行して欲しい。

(14) 「連珠・公認指導員」制度の活動 … 40千円

△職務分掌の普及推進担当理事(丸田氏・千木良氏を予定)が中心になって、連珠公認指導員を活用した普及推進活動具体施策の立案と早期実施が望まれる。すみやかにこれらの活用を図りたい。

△連珠公認指導員や会員が各ネット連珠でも積極的に指導することを期待したい。

(15) 特別表彰制度 … 30千円

△特別表彰制度内規(理事会議決)に沿って、平成25年度特別表彰者を表彰する。

※特別表彰制度として、下記3条件のいずれかを満たした者を理事会で審議決定した。

(1) 新聞、雑誌等に5年以上、詰め連珠や連珠関連のニュースの提供、図書の出版をされた方(公益性が著しく高い)

(2) 連珠の普及に継続して貢献された方(公益性が相当高い)

(3) 国際交流に貢献された方(公益性が高い)

※候補者氏名と表彰理由 …… **特別表彰該当者なし**

(16) その他 … 50千円

△諸事情で実戦機会に恵まれない連珠愛好者のために「段級位認定問題」の配布など、きめ細やかな活動を続けます。